

否定・強調・倒置・省略 10分
小テスト（標準・24点）

年 組 番 名前_____

この紙のゴール：部分否定と全否定を書き分け、強調構文・倒置・省略を正しく使える / 語群なし。自分の力で形を思い出して書きます。

1 場面に合うほうを○でかこもう。 知識・技能 各3点

(1) ペンギンの写真を見せながら	(Not / No) all birds can fly.
(2) 割れた窓の前で犯人を言い当てて	It was Ken (that / what) broke the window.
(3) 夕日の写真を見せて	Never (I have seen / have I seen) such a beautiful sunset.
(4) 納豆が苦手だと伝えて	My sister likes natto, but I (am not / do not).

2 対話を通じるように () に英語を書こう。 知識・技能 各2点

A: Did everyone in your class pass the test?
B: () all of us did. Three people have to take it again.
A: That's tough. Who put the results on the board?
B: () was Ms. Sato that put them up. Only then () I understand my mistake.

3 自分のことを書こう。 思考・判断・表現 2点

「～が全部…というわけではない」を使って、身のまわりのことを英語I文で書こう。

4 同じ「みんな受からなかった」でも、英語では2つに割れます。 思考・判断・表現 各2点

どちらも正しい英文です。
A Not all the students passed the exam.
B None of the students passed the exam.

① 「受かった人もいる」ことが分かるのはどちらですか。記号で答えよう。

② なぜそう読めるのですか。理由を書こう。

解答

1		2	
(1)	Not	(1)	Not
(2)	that	(2)	It
(3)	have I seen	(3)	did
(4)	do not		

3（解答例） Not all students in my class are good at sports.

4 ①は正答が1つ。②は一例で、趣旨が合っていれば表現は問いません

①	A	打ち消されているのは「全員」のほうなので、受かった人は残る。
②	「Aの not は all（全員）を打ち消しているの で『全員ではない』となり、受かった人が残る が、Bの none は数そのものをゼロにしている から。」（一例）	not のとなりに何があるかで打ち消す先が変わる—これがこの単元の芯そ のもの。「部分否定だから」とだけ書いた答案には、何を打ち消している のかを1行返す。

採点のめやす

- ・大問1の正解は(1)Not・(2)that・(3)have I seen・(4)do not—4問を同じわざひとつでは書けません。「倒置の単位だから倒置」と当てにいった答案は(1)と(2)が落ちます。返却時は(1)を取り上げ、not のとなりの語で打ち消す先が変わることに1分使ってください。
- ・大問1(2)は who と書いた答案も正解です（人を強調しているため）。what と書いた答案には、強調構文の受け皿は that か who であることを1行添えてください。
- ・大問1(3)は発展版だけ空所が長くなります。have I seen 以外に、had I seen や did I see と書いた答案も、どの時点から言っているかが読み取れれば正解にしかまいません。
- ・大問1(4)に does not と書いた答案が出ます。主語が I なので do not が正解ですが、省略の考え方は合っているので、主語と助動詞の対応だけを1行返してください。
- ・大問2の語群は基礎版だけにあり、3語とも並びを空所の順とわざとずらしてあります（順番で当てられないように）。標準版・発展版は語群なしの記入式で、(2)に It のかわりに That と書いた答案は不正解です—強調構文の頭は It だけだと1行添えてください。
- ・大問2(3)は Only then が文頭にあるので did が入ります。do や does と書いた答案には、うしろが understand と原形になっていることを手がかりに時制を考えさせてください。
- ・大問3は部分否定の形になっていれば内容は問いません。**Not all + 複数名詞**のあとの動詞が複数に合っているかを見るところにしてください。発展版は2文で1つの解答です—2文目に強調構文を選んだ答案は、that のうしろに席が欠けているかを見ます。
- ・大問4は暗記では答えられない問いです。AもBも正しい英文なので、どちらかが誤りだと思ってさがしても選べません。not のとなりに all があるか、none で数をゼロにしているか—**形を見て意味を決める**問いです。②は「not が all を打ち消している／none は数をゼロにしている」の趣旨が書けていれば表現は問いません。
- ・帯ごとの扱い：学び直し帯は見取り図が倒置と省略まで届いていないので、大問1(3)(4)と大問2(3)を外して16点満点で扱ってください。大問4は否定の書き分けなので、この帯でもそのまま出せます。
- ・基礎固め帯は倒置まで扱うので、大問1(4)を外して21点満点です。
- ・実力帯・入試帯は24点満点で扱えます。入試帯では大問3の2文目に選んだわざを余白に書かせ、意図どおりの語が前に出ているかを見てください。
- ・10分で最後まで届かないクラスは、大問3を宿題に回すか、大問4だけを次の時間の導入に使ってください。